

五ヶ山古墳群2号古墳

この古墳は調査が終わってから埋め戻され、「仁川古墳公園」として整備されています。今は古墳に立ち入ることや内部を見ることはできませんが、公園の盛り土の中には7世紀初めに作られた後埋め戻された「五ヶ山古墳群2号古墳」。

豪族眠る巨大石室

宝塚市との市境、標高約140mの住宅地にある「五ヶ山古墳群2号古墳」。

この古墳は、儀式の時に馬を装飾する黄金色の馬具の一部などが出土しました。石室の大きさや出土品から、まつらでいるのはヤマト政権下の一翼を担い、ある程度の地位と



ピックアップニュース

PICK UP NEWS

芝生広場で大型イベント開催

日(日)の午前10時～午後4時に鳴尾浜臨海公園南地区芝生広場で「芝ふえす」を開催します。芝生で楽しめるヘルシーワークショッピングをはじめ、マルシェや音楽などイベント盛りだくさんです。ぜひお越しください。入場無料。

鳴尾浜臨海公園管理事務所は、11月16日(日)の午前10時～午後4時に鳴尾浜臨海公園南地区芝生広場で「芝ふえす」を開催します。芝生で楽しめるヘルシーワークショッピングをはじめ、マルシェや音楽などイベント盛りだくさんです。ぜひお越しください。入場無料。

詳しくは同公園のホームページ(<http://www.maruohama-park.com>)をご覧ください。
問合せは鳴尾浜臨海公園管理事務所(0798・48・9386)へ。
料金は以下の通りです。
①木の実で飾るX'masツリーのアレンジメント…6日(土)午後1時から。参加費2500円
②冬のむしむし観察会…13日(土)午後1時から。参加費200円
③お正月を飾る洋風寄せ植えと伝統の松竹梅作り…23日(火・祝)午後1時から。参加費は洋風3500円、松竹梅4500円
※要申込。定員あり

展示

秋の生け花展…11月15日(土)・16日(日)
きのこの森のクリスマス展…11月22日(土)～12月25日(木)

※時間は午前10時～午後4時

【問合せ】北山緑化植物園(0798・72・9391…水曜休み)

ようこそ！ 北山緑化植物園へ

このコーナーでは、北山緑化植物園で行われる教室や催し、また園内で見られる花を紹介します。

《今月の花》レモンマリーゴールド



花と緑の教室 《12月分》

- ①木の実で飾るX'masツリーのアレンジメント…6日(土)午後1時から。参加費2500円
- ②冬のむしむし観察会…13日(土)午後1時から。参加費200円
- ③お正月を飾る洋風寄せ植えと伝統の松竹梅作り…23日(火・祝)午後1時から。参加費は洋風3500円、松竹梅4500円

※要申込。定員あり

展示

秋の生け花展…11月15日(土)・16日(日)
きのこの森のクリスマス展…11月22日(土)～12月25日(木)

※時間は午前10時～午後4時

【問合せ】北山緑化植物園(0798・72・9391…水曜休み)

こっこ文化財

このコーナーでは、西宮にある文化財を紹介します

シモンドールの世界に魅了



手前から「少女の人形9」1984年、「少女の人形10」1984年、「少女の人形11」1984年

11月30日まで西宮市大谷記念美術館で「SIMONDOLL (シモンドール) 四谷シモン」展が開催されています。人形作家・四谷シモンさんは、球体で作られた関節で姿勢を自由に表現できる「球体関節人形」で知られ、同氏が制作した人形は“シモンドール”として国内のみならず海外からも高く評価されています。会場には、1960年代から今年の作品まで、46点のシモンドールが、6つの章に分けられて展示されています。訪れた人は、「遠くをじっと見つめているような人形の目に強くひきつけられました」などと話していました。



nishinomiya にし フォト photo

このコーナーでは、西宮に関するイベントや出来事などを写真で紹介します

スイーツのコースに舌鼓



甘い香りが漂う会場では、参加者の幸せいっぱい笑顔がたくさん見つかりました

10月21日、ノボテル甲子園で「西宮洋菓子園遊会」が開催されました。13.5倍の当選倍率の中、見事選ばれた参加者200人に、市内有名洋菓子店のパティシエら15人の創意あふれるスイーツが6皿のコースで振る舞われました。

参加者たちは次々と運ばれてくるきれいに盛り付けられたスイーツをおいしそうにほお張ったり、写真を撮ったりして大満足の様子でした。

このコーナーでは、司書が大人にもお薦めの児童書を紹介します

びんの悪魔

内容紹介 水夫ケアウ工は、ひょんなことから不思議な「びん」を50ドルで手に入れる。そのびんは、持ち主の望むものを何でも引き寄せてくれるが、びんを売り払う前に持ち主が死ぬと地獄の炎に永遠に焼かれてしまうという厄介なもの。そのうえ、びんは手に入れた値段よりも安い硬貨で売らなければならない。ケアウ工は輝くばかりの屋敷を手に入れ、一度はびんを売り払ったが、愛する人のため、再びその力を借りることに。だが、びんはすでに1セントまで値下がりしていた。

【問合せ】北口図書館(0798・69・3151)

歩きたばこはやめましょう

